



▲三河市の中学生の発表を聞く総和北中学校の生徒たち

古河の魅力を英語で伝える 中国三河市オンライン 交流会

12月11日、国際友好交流都市である中国三河市と古河市の中学生が交流会を行いました。

今年は三河市の生徒たちが古河市を訪問する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、オンラインで開催。各学校の生徒たちは、自身の住むまちの良さや学校行事などを英語で発表し、お互いに親睦を深めました。



▲弁財天が祭られている大聖院にも多くの巡拝者が並び、1年の幸福を願っていました

めぐる門には福来る 7000歩で歩ける 古河七福神めぐり

1月9日、古河駅西口周辺に点在する9カ所の神社等を巡る古河七福神めぐりが行われました。

市内外から多くの巡拝者が訪れ、約2時間(3.5km)のコースを自由に巡り、1年の幸福や無病息災などを祈願。感染症対策を講じた多くの人が参加しました。

参加した女性は「1日でも早くコロナが収束し、家族みんなが健康で過ごせまうように」と話していました。

20年以上かけて観察した雪の結晶 古河歴史博物館企画展 雪の殿さま 土井利位

2月27日まで、古河歴史博物館で企画展「雪の殿さま土井利位」を開催中です。利位が観察した、雪の結晶に関連した資料や「雪華模様」が施された刀剣の鐺・絵画などが展示されています。校外学習に訪れた児童たちは、学芸員の解説を聞きながら「雪華模様」が人々に受容されていった歴史などを学びました。



▲雪華模様が施された作品を見学する西牛谷小学校の児童

古河大使の浅野恭司さんによる わたらせ水辺の楽校 橋脚イラストが完成



▲イラストを見つめる会員

12月24日、わたらせ水辺の楽校で橋脚イラストの完成お披露目会が行われました。

イラストは、古河大使の浅野恭司さんがふるさと古河の情景と、市民の生き生きとした姿をイメージして作成。お披露目会に参列した会員からは「わたらせ水辺の楽校が市民の憩いの場となっほしい」との声が聞かれました。

知識と技術の向上を目指して アンパイアセミナー開催

12月12日、古河市民球場で第7回古河市アンパイアセミナーが開催されました。野球の審判技術向上を目指す25人が参加し、発声やジェスチャーなど審判を行う上で必要となる動作を習得。

渡辺委員長は「セミナーを通して少しでも審判に興味を持ってもらい、今後の野球界発展につながれば」と熱く語ってくれました。



▲タブレットを活用し、目線やフォームを確認しました

コロナ禍における認知症を学ぶ 在宅医療・介護に関する 市民向け講座



▲体を動かしながら講演を行う黒木氏

12月24日、ユースセンターKI防水で在宅医療・介護に関する市民向け講座を開催しました。

江湖山さおり氏(筑波大学附属病院認知症疾患医療センター)と黒木勝紀氏(医療法人大誠会)が、コロナ禍における認知症の現状や認知機能維持を目指した健康管理について講演。参加者からは「体験を交えた講演で楽しかった」などの声が聞かれました。